

〔出席委員〕 中嶋邦彦、松本典子、名越和範、吉田武章、富田充信、赤本てるみ、小椋博志、
松田裕一、大橋和久、岡野勝義、小谷次雄、山下千之、長谷川暢宏、西田直美

〔オブザーバー〕 中田朱美（中部教育局学校教育係長）

（敬称略）

1 開会	
司会	（開会の宣言）
①開会挨拶	
会長	本日は校区再編について、子ども達のことを根本に置いて具体的に考えていただきたい。
司会	資料の確認。
2 事務局説明	
①経過説明	
事務局	<p>第2回審議会では、各地区の教育を考える会などで市民の意見を聞いてはどうかという意見が出ていた。教育的側面、経済的側面等あるが、子どもの学びについて重点を置くこととした。話を進めていくために、具体的に小学校名を挙げての議論が必要ではないかとの提起があり、今回の第3回の審議会では、第2回で各委員から出された各小学校区の課題をまとめたものを基に、小学校区の校区再編について議論することとした。</p> <p>これまで、学級規模については概ね20人から30人がよいとの議論で進めてきたが、ここでの議論は、最低20人～30人がよいというものであって、学級の人数の上限を30人とするものではないということを確認しておく。</p>
3 協議	
(1) 校区再編	
①グループ協議（3つのグループに分かれて協議）	
<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校区の課題について ・校区再編についての提案 ・校区再編した場合の課題 	
②各グループ協議の概要報告	
	〔以下グループごとに報告された再編についての提案、再編した場合の課題〕
グループ1	河北中校区については、大きな変化がないようなので現状でよいのではないかと。
	久米中校区では、社小が3中学校に分かれる現状を解消できないかとの議論があった。社小全体としてこの中学校へということができればよいだろうが現状ではそうはいかない。今すぐということではないが、将来的には高城小、北谷小、社小が一つになって小中一貫校とすることも視野に入れて考えてはどうかという意見も出た。
	東中校区は、地域的には明倫小と成徳小が一つになっていくことが自然ではないかとの意見が出たが、問題は中学校区が違うということ。中学校区で考えた時には、成徳小は上灘小と統合し、明倫小は西中校区のどこかと統合することを考えた方が現実的ではないか。さらに灘手小と社小の一部が現在東中に行っている現状があり、灘手小は成徳小との統合がよいのではないかとの意見が出た。
	西中校区は、小鴨小の校区の一部の再編が必要ではないかとの意見があったが、社小の校区との兼ね合いを考える必要がある。社小を3つの中学校区の小学校に分けたらどうかという意見もあったが、その場合、社小がなくなってしまうことになってしまう。西中校区全体としては、児童数がそんなに減っていく状況ではないようであるが、増加していくということは考えられないので、将来的には社小との兼ね合いを考えていく必要がある。
	鴨川中校区については、山守小が関金小に統合されるということで、地域の方も

	ある程度は予測し、覚悟しておられるという状況があるようであり、山守小の校舎の作りもそれを意識したものになっているということだった。ただ、通学区域が広くなり、定期バスというよりは、スクールバスの運行を考えるとどうかとの意見が出た。また、スクールバスのような形でのタクシーのようなものを考えるとどうかという意見もあった。
グループ 2	東中校区は、明倫小と成徳小を一緒にという意見もあったが、成徳小を上灘小と統合する方が現実的ではないかとの意見もあった。
	西中校区では、明倫小をどうするのかという議論となったが、小鴨小との統合がよいのではないかということになった。
	鴨川中校区では、1 学年最低 20 人、学校全体の適正規模として 120 人の児童数を考えると山守小と関金小との統合では不十分であり、そこに上小鴨小も加えてどうかとの意見になった。
	久米中校区では、社小の状況について、小学校区として同じ中学校に行ける状況をつくるのがよいのか、現状のとおり小学校区を残していくことの方がよいのか議論が分かれた。また、北谷小と高城小を統合した場合、場所的に久米中の近くになると、社小校区になってしまう。そうすると社小校区を含めた統合を考えるべきではないかという意見が出た。
グループ 3	久米中校区については、高城小と北谷小との統合がよいのではないかとの意見が出た。場所については、どちらかの校舎を使うということは位置的に無理があるとのことで、久米中付近に新しい校舎を建築してはどうかということとなった。
	西中校区では明倫小をどうするのかということが課題として出ていた。
	鴨川中校区では、山守小と関金小とを統合すればよいのではないかとの意見もあるが、若干地域に難しい面があるのではないかとの意見も出ていた。また、上小鴨小も含めた 3 校の統合を考えた方がよいという意見もあった。現在北谷小校区の藤井谷、仙隠などは関金小に行く方がよいのではないかとも意見も出ていた。
	西中校区では、上小鴨小と小鴨小との統合はどうかとの意見が出た。また、明倫小は東中に進学することとしてはどうかとの意見が出ていた。
	将来的に、20 年後とかというかなり遠い将来的にはあるが、鴨川中と西中との統合も考える必要が出てくるのではないかと。
	明倫小、成徳小、社小のバス路線の地域を統合して一つの小学校に通わせてはどうか。上灘小は現状とする。灘手小はスクールバスを使って社小と統合することも考えることができる。明倫小と成徳小を統合した場合、校舎は成徳小へ。しかしこの場合グラウンドがせまいことが課題となる。社小が 3 つの中学校へ分散していることが課題となっている。また、統廃合した場合の空き校舎の活用を考えていかなければならないとの意見が出た。
③全体協議	
<ul style="list-style-type: none"> ・校区再編について ・校区再編した場合の課題 	
会長	各グループの意見についての質問や意見を出していただきたい。
委員	今の校舎の状態を考えると 10 年後まではよいとか、もう古くなっていて緊急性を要するというような情報が必要である。成徳小と明倫小はともに古く、建て替えの必要な時期が来ているのではないかと。
会長	今までは校舎や通学のことを考えず、子どものことを中心にして議論してきた。今後は耐震のことも含めた校舎のこと、スクールバスなどの通学のこと等も含めて考えていかなければならない。また一気にやるのか、5 年後、10 年後を見通してやるのかという時期的なことも考えていかなければいけない。
教育長	統廃合について考える時には、校舎の問題がある。校舎の問題で考えていけないといけないうのは、その校舎がいつまで使えるのかということ。耐震化の必要性がある学校、いわゆる I s 値の 0.7 以下の学校が 22 棟ある。校舎で緊急性を要

	するものもある。次回審議会では資料を出していく。
事務局	通学距離が小学校では4 km、中学校では6 km以上の児童生徒には、遠距離通学の補助制度があり、8割を補助している。
教育長	スクールバスがよいのか、路線バスを活用していくのがよいのか、シミュレーションしてみる必要がある。鴨川中と西中をいずれは統合するという発言があったが、校舎の状況とも関連してくる。現在は無理だが、生徒数の減少に伴い、たとえば10年後であれば可能であるというように段階的なシミュレーションをしてみる必要がある。
会長	今回一気に統廃合を考えるのではなく、3年後、5年後、10年後というように段階的に考えていかなければならないのではないかと。
教育長	段階的に状況を見ながら進めていく必要がある。
会長	今日は具体的に校名を挙げながら統廃合について考えたが、それを進めていこうとするといろいろな課題が見えてきている。それを解決していこうという構えが必要ではないか。
教育長	当然のことではあるが、統廃合を進めるにあたり、課題となることを解決していく構えはある。また、基本的には地区公民館の単位は崩せないと考える。ただ状況によって、小学生の間他地区の小学校に行くのがよいのか、中学校になってから他地区の中学校に行くのがよいのかというような原則論を検討することが必要ではないか。小鴨小学校区の福守町、鴨川町の辺りは小鴨小に行くより、社小に行く方が近い。6年間を遠い方に行くのがよいのか、3年間にするのか考える必要がある。全市を考えたとき、小学校区と中学校区を完全に一致させるのは無理な状況にある。原則論として小中のいつの時期に別の校区に行くのか考えておいてもよい。社小校区と西中校区については検討していく必要がある。
委員	社小を含む再編を考えたとき、小中のつながりをどこに置くのかということも含め、小中一貫校についても検討したらよいという意見が出ていた。
教育長	建物も含めて一つにした小中一貫校にするのか、建物は別だが小中一貫教育という考え方をするのか考えることができる。学校が一つになると校長、養護教諭等が一人になってしまう。教員定数のことも考えて、今後さらに議論する必要がある。
会長	今日の議論では、鴨川中校区については各グループ同じような考え方であった。久米中校区では何年後かにはというような考え方で同じような方向性ではあったが、社小についてさらに考えていかなければならない。西中校区では明倫小を小鴨小校区へ、東中校区では成徳小を上灘小校区へというような考え方があり、明倫小と成徳小との統合をとという考え方とは違った考えが出ていた。河北中校区は今のところは校区再編はしないくてよいのではないかとということであった。
教育長	一つの案となればよいが、まだたたき台を作ろうという時期であり、複数案があってもよいのではないかと。来年は市全体で話し合うことになり、こういう案の場合はこういう課題、こういう案の場合はこういう課題というように両論併記した形のを提示していくという考え方もあるのではないかと。今後さらに議論を深め、その後整理していけたらと思う。次回は校舎の耐震化の問題や通学の問題等の資料も出していきたい。
委員	校区再編以前の問題として通学区域再編の問題もあるのではないかと。
会長	統廃合とともに通学区域についてもこの審議会で論議していきたい。次回はさらに今日の審議の内容を深めるとともに、整理していきたいと思うのでよろしくお願ひする。
4 その他	
事務局	連絡：追加の意見の送付について、今後の日程について
5 閉会	